

CREATE
LASTING
IMPACT

Rotary

HAPPY ROTARY
みんなのためにRotary
第2580地区持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary



ロータリー財団月間

国際ロータリー第 2580 地区
2026-27 年度 ガバナー

谷一 文子

『地区の4つの目標』

1. 会員を増やすこと
特に退会防止につとめよう
2. インパクトのある奉仕をしよう
3. RIや地区のリソースを活用しよう
4. ロータリーファミリーを大切に

私は以前、ロータリー財団への寄付に消極的でした。その一番の理由は「寄付金が何に使われているか分からない」ということだったと思います。当時は年会費に含まれる形で半ば義務的に徴収されており、自身の所属クラブでも地区補助金やグローバル補助金を全く活用していませんでした。

しかし、過去に出席したロータリー研究会で、我々の寄付金がどのように運用されているかについて明確な説明を受けました。現在 15% の運用益をあげており、以前はなんと約 30% も上げていたという事実には驚くとともに、国際的な人道支援だけでなく、我々の身近な地域社会の奉仕活動にも広く活用できることを改めて知ったのです。

当地区の東京荒川ロータリークラブによる「空を飛ぶ血液が命をつなぐ！ モンゴル・ドローンプロジェクト」は、国際ロータリーの『財団室 NEWS』でも大きく取り上げられています。私も今年 5 月に現地へ同行し、ドローンが病院間を力強く飛び立つ姿を目の当たりにしました。現地で歓声が上がったあの瞬間は、今も忘れられません。グローバル補助金を有効に活用し、ロータリーが掲げる 7 つの重点分野（①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境の保護）において、より大きなインパクトをもたらす奉仕活動を展開していきましょう。

また、1988 年には世界で推定 35 万人いたポリオ患者ですが、現在はパキスタンとアフガニスタンの 2 カ国において、わずか 42 人の症例（2026 年 1 月～10 月 13 日：世界ポリオ根絶推進計画〈GPEI〉データ）にまで減少しています。しかし、今ここで完全に根絶しなければ、今後 10 年間で毎年 20 万人が再び発症すると警告されています。

現在、ロータリー財団への 1 米ドルの寄付に対して、「ゲイツ財団」から 2 倍の 2 米ドルが上乘せされます。すなわち、ロータリーが毎年 5,000 万米ドルを拠出することで、計 1 億 5,000 万米ドルという巨額の資金が根絶活動に投入されているのです。これまでロータリーは、約 30 億人の子どもたちへの予防接種を支援し、29 億米ドル以上を寄付、各国政府から 110 億米ドル以上の財政支援を導き出してきました。

私の大学時代の友人に、ポリオの罹患者がいました。当時、正しい知識のなかった私は、彼女に「ポリオなの？」と無遠慮で残酷な言葉を投げかけてしまいました。美しく、さわめて頭脳明晰だった彼女が、もしポリオにかかっていなければ、きっと世界を舞台に大活躍する人材になっていただろう……。そう思うたびに胸が締め付けられ、私はポリオ根絶の日をこの目で絶対に見届けたいと強く願うようになりました。

現在、各グループで「ポリオ根絶プロギング」が始まっています。写真は、10 月 24 日に多摩グループで開催された、当地区初となるプロギングの活気あふれる様子です。皆様の積極的なご参加と行動をお待ちしております。



多摩グループポリオ根絶プロギング（2026 年 10 月 24 日）

より大きな
インパクトを
もたらす
奉仕活動を
展開して
いきましょう。

文京グループ

おかげさまで、文京グループにおけるガバナー公式訪問はすべて無事に終了いたしました。各クラブのご協力に心より感謝申し上げます。今回は、その中で特に印象に残った「東京目白ロータリークラブ」をご紹介します。

創立4年目を迎えた東京目白ロータリークラブは、「これからどのようなクラブに成長していくのか」と、将来が非常に楽しみなスタートを切っています。

今年度のクラブスローガンは「**会員みんなで動き回る**」です。新しいクラブだからこそ、まずは自分たちから積極的に動こうと、他クラブの例会や活動にも精力的に足を運ばれています。先輩クラブの取り組みを「見て、聞いて、学ぶ」姿勢を何よりも大切にされているのが印象的です。

また、11月8日から10日にかけては、那須会長の地元である愛媛県への家族旅行会を兼ねて、松山ロータリークラブと今治ロータリークラブを訪問される予定です。現地のクラブとの交流や活動視察を通じて、さらに多くのことを吸収されることでしょう。

「動いて、学んで、交流して、そして楽しむ」。このエネルギーが活動のプロセスこそ、まさに谷ーガバナーが提唱されるテーマ「Happy Rotary」の体現ではないでしょうか。

東京目白ロータリークラブの今後の歩みに、ますます期待が膨らみます。

東京北ロータリークラブ 田中 良一



田中良一ガバナー補佐



東京目白 RC ガバナー公式訪問



おうぎ寮での出張転寿司行事

武蔵野グループ

武蔵野グループは、「ロータリーの出会いとご縁を大切に、グループの絆を更に強めよう」をモットーとして活動しています。今年度、グループ内において東京武蔵野 RC が創立70周年、東京小平 RC が創立60周年を迎えますので、この二つのクラブをご紹介します。

■ 東京武蔵野 RC (創立70周年)

東京武蔵野 RC は1957年、当時のガバナー伊藤文吉氏による「東京23区以外で初めてのクラブを創立しよう」という方針のもと、東京西 RC をスポンサーとして、東京で7番目のクラブとして誕生しました。その後、当クラブは1967年に東京三鷹 RC、1969年に東京田無 RC、1977年に東京武蔵野中央 RC の設立スポンサーとなり、ロータリークラブの拡大に大きく貢献してきました。

■ 東京小平 RC (創立60周年)

東京小平 RC は、東京小金井 RC をスポンサーとして1967年に設立されました。東京で37番目、三多摩で12番目のクラブとなります。設立当初は「国分寺 RC」の名称でスタートしました。当初から「東京小平」の名称を希望していましたが、当時の第358地区では認められず、1970年に東京の地区が二つに分割された翌年(1971年)、現在の「東京小平 RC」に改称いたしました。当クラブは設立当初から地域での奉仕活動に積極的に取り組んでおり、その素晴らしい伝統は現在にも引き継がれています。

東京武蔵野中央ロータリークラブ 高橋 榮治



高橋榮治ガバナー補佐



東京武蔵野 RC ガバナー公式訪問



東京小平 RC ガバナー公式訪問

第2580地区クラブ数・会員数

2026年9月30日時点の集計結果
7月1日会員数：3,048名
(内女性会員369名・12.11%)
9月末会員数：3,128名
(内女性会員388名・12.40%)
クラブ数：73クラブ
2026-27年度入会：106名
2026-27年度退会：26名
2026-27年度純増：80名



地区サイト
谷ーガバナー
メッセージ

謹んで哀悼の意を表します

多賀 之雄 (たが ゆきお)
正会員 東京江戸川 RC
逝去日 2026年10月16日 享年 79
入会日 2008年6月2日
株多賀
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
ベネファクター、米山功労者マルチプル

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団・メジャードナー

ポール・ハリス・ソサエティ
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

喜納 兼功	【那覇東】
名嘉 義明	【那覇】
中島 慶貴	【東京青梅】
8回 西村 真一	【那覇東】
6回 赤嶺 太介	【那覇】
5回 安里 繁信	【那覇】
4回 平良 友美	【浦添】
1回 与那覇 正明	【那覇】
1回 許田 洋	【那覇】
1回 喜屋武 尚	【那覇】
1回 國吉 健	【那覇】
1回 上原 修	【那覇】
1回 三反園 修	【那覇】
1回 白石 武博	【那覇】
1回 新垣 竜也	【那覇】
1回 新垣 淑豊	【那覇】
石嶺 一	【那覇】
中島 弘人	【東京ワセダ】
40回 迫 幸治	【那覇東】
11回 峯岸 芳幸	【東京練馬西】
8回 莊 茂登彦	【東京練馬西】
5回 喜納 朝勝	【浦添】

(2026.10.23 現在)

ポール・ハリス・フェロー
ポリオ・プラス・ソサエティ
米山功労者・メジャードナー
米山功労者・マルチプル